

# G H利用者への「交際・結婚・子育て」に関する取組事例

項 目	取組事例
交際、同棲、結婚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交際への本人の気持ちを肯定しつつ、G Hで生活する上での必要なルールを本人と一緒に決めた。</li> <li>・ 1泊外泊から徐々に外泊期間を伸ばして同棲までに段階を踏ませる。</li> <li>・ お試し期間として一定期間、相手の居住地に行くことを提案した。</li> <li>・ 自立生活を目指し、まずはサテライト型G Hへの移行を提案し、金銭管理や免許取得などを支援した。</li> <li>・ 同じ病気であったり、結婚等を経験した仲間との情報交換。</li> <li>・ 婚姻届や住所変更など行政窓口への手続きの付き添い。</li> <li>・ 家族、関係機関と相談を重ね、夫婦（2人）で暮らせるG Hや、民間アパートへの移転を支援した。</li> <li>・ 転居先でも身近な相談ができる相談支援事業所を紹介し引き継ぎを行う。</li> </ul>
妊娠、出産、子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関（産婦人科）への職員の同行、体調管理への助言。</li> <li>・ 障がいがあっても安全に出産ができるよう、本人や関係機関とも相談しながら医療機関の選定を支援。</li> <li>・ 公営住宅や一般住宅での夫婦生活・子育てを実現するために、家族や関係機関と検討。居宅サービス等で生活をサポート。</li> </ul>
その他全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交際、結婚の希望や予定は計画作成・モニタリングの際等に確認。&lt;5・12・17・24&gt;</li> <li>・ SNS、婚活アプリといったツールでの交際では、本人の意向を尊重しつつも、ツールによるメリット、デメリットをアドバイスする。</li> <li>・ 利用者家族や相談支援事業所等（相手もサービス利用者の場合は、双方の事業者間）と情報共有し、本人の意向をもとに支援策を検討。</li> </ul>

※「共同生活援助事業所における入居者の結婚等に係る実態調査結果報告書 令和5年（2023年）6月」から抜粋